

令和7年度 園評価

令和8年3月31日

～職員評価・保育士自己評価の結果について～

当園では、子どもたち一人ひとりが安心して健やかに成長できる環境づくりを目指し、保育の質の向上に継続して取り組んでいます。

その一環として、毎年「職員による園評価」と「保育士による自己評価」を実施し、保育や園運営を振り返り、今後の改善に活かしています。

令和7年度の評価結果について、以下のとおり公表いたします。

1 職員による園評価

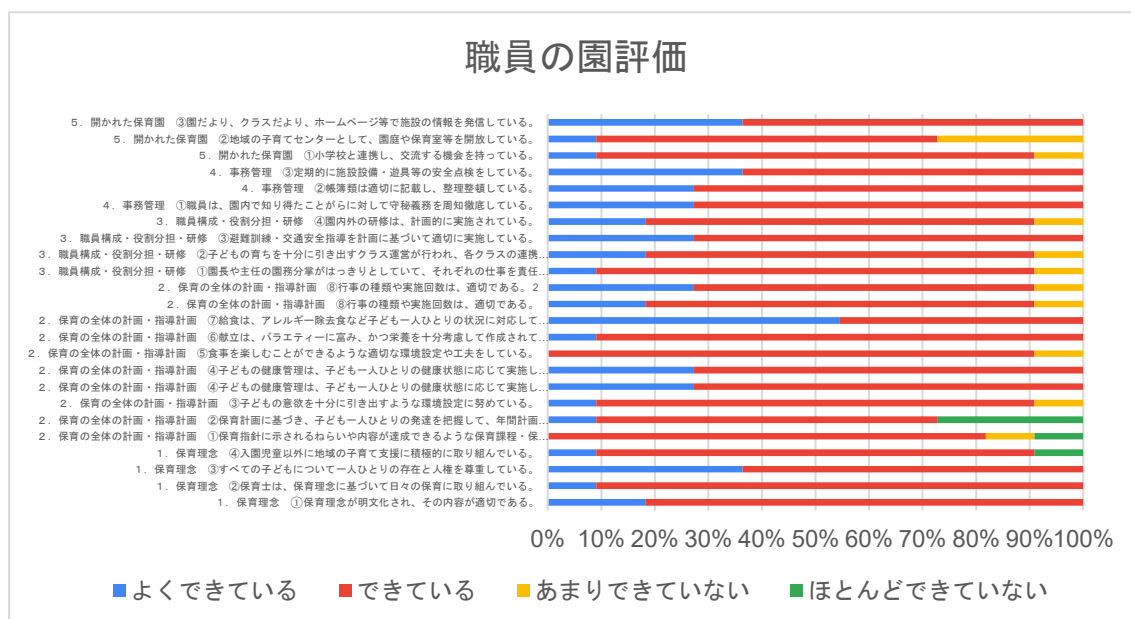
職員全員で、保育理念や保育計画、安全管理、職員間の連携、保護者・地域との関わりなどについて評価を行いました。

評価結果

今年度は、多くの項目で「できている」と回答した割合が高く、保育理念の共有や保育計画に基づく保育、安全管理、職員間の協力体制などについて、日頃の取組が適切に実践されていることを確認しました。

一方で、地域との連携や子育て支援、防災・安全対策のさらなる充実などについては、今後も継続して見直しと改善を進めていく必要があることが確認されました。

職員一人ひとりが課題を共有し、研修や話し合いを重ねながら、より良い園づくりに取り組んでまいります。



保育士一人ひとりが日々の保育を振り返り、自らの保育実践について自己評価を行いました。

評価項目は、運営管理、職員連携、保育環境、健康・食育、言葉、表現、乳児保育、人権、養護など、保育全般にわたります。

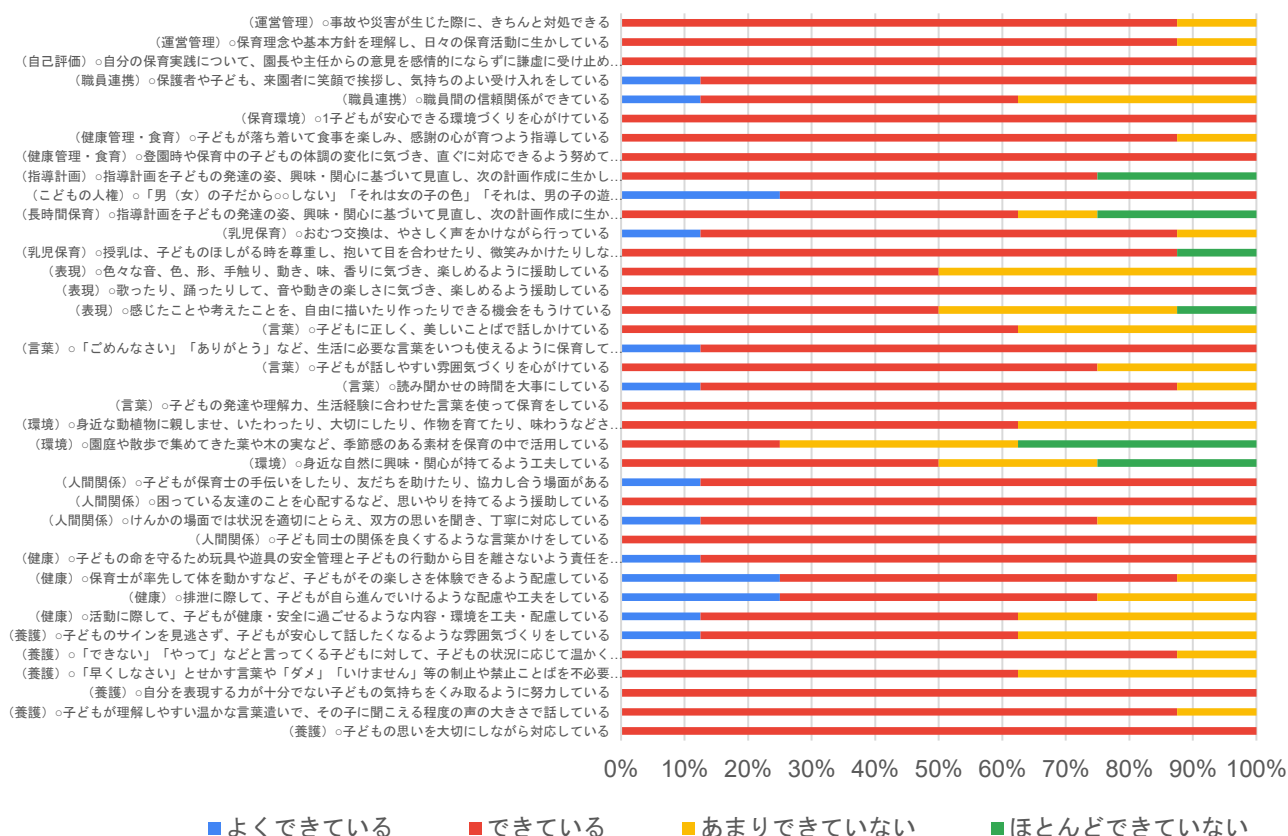
評価結果

評価の結果、多くの項目で「できている」「よくできている」と回答しており、子どもの主体性を尊重した保育、安全への配慮、保護者との信頼関係づくり、職員同士の連携などについて、日頃から意識して保育を実践していることが確認できました。

また、自然との触れ合いを活かした保育や保育環境の工夫、子どもの思いにより丁寧に寄り添う関わりなどについては、さらに充実を図る余地があることも明らかとなりました。

自己評価を通して見えてきた課題を職員間で共有し、園内研修や日々の保育の振り返りを重ねながら、より質の高い保育の実現に努めてまいります。

保育士の自己評価



今後の取組

今回の園評価を通して、多くの項目で一定の成果を確認することができました。一方で、改善すべき課題も明確になりました。

今後は、次の点を重点的に取り組んでまいります。

- ・ 保育理念を全職員で共有し、子ども主体の保育をより一層充実させます。
- ・ 園内研修や公開保育を通して、保育の専門性の向上に努めます。
- ・ 子どもの思いを丁寧に受け止め、一人ひとりに寄り添った保育を実践します。
- ・ 保護者との信頼関係を深めるとともに、地域との連携や子育て支援の充実を図ります。
- ・ 安全管理・防災対策について定期的な見直しを行い、安心して過ごせる保育環境づくりを進めます。

おわりに

当園では、子どもたちが毎日安心して笑顔で過ごせることを第一に考え、職員一人ひとりが学び続ける姿勢を大切にしています。

今回の評価結果を真摯に受け止め、保護者の皆様や地域の皆様から信頼される園であり続けられるよう、職員一同、より一層保育の質の向上に努めてまいります。

今後とも、当園の教育・保育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。